

「熊本地震を耐え抜いた孤風院 引き手デザインコンペ」

最優秀案は実際に孤風院に設置されます

孤風院は熊本高等工業学校（現在の熊本大学工学部）の講堂が建築家・木島安史氏によって阿蘇に移築され、住居兼アトリエとして生まれ変わり、築 110 歳、移築後 43 歳を数えるいまも更新され続けている稀有な建築です。昨年の熊本地震で阿蘇地方も大きな被害を受けましたが、孤風院は概ね健全な状態に見受けられます。ただし、一部の天井や建具等が損傷し、改修の必要に迫られています。そこで今回の改修に伴い、窓の引き手のデザインを幅広く募集します。孤風院に相応しい、引き手のデザインを期待します。

- テーマ 孤風院に相応しい引き手
- 応募資格 国内の大学、高専に所属する学生を対象とします
グループ・個人を問いません
孤風院にて行われる審査会に参加できること（審査会：2017年3月5日(日)10時～を予定）
- 事前登録 応募者は2月18日(土)17時までに「代表者氏名、住所、電話番号、所属、メールアドレス」を本文に記載したメールを、kenchikukotobuki@gmail.com まで送ってください
- 提出物 ①A3用紙1枚のPDFデータ「代表者氏名.pdf」（10MB以内）をメールにて提出
・ 図面、ドローイング、CG、実物写真など、引き手のデザインを表現するもの（縮尺自由）
・ デザインのタイトルおよび課題に対するコンセプトを表記すること
・ メールには事前登録と同様の「代表者氏名、住所、連絡先、所属、メールアドレス」を記入
②モックアップ（原寸模型）
・ 縮尺は原寸で素材は自由
- 提出締切 ①2017年2月28日(火)17:00までにメールで送信 送信先：kenchikukotobuki@gmail.com
および提出先 ②2017年3月5日(日)の審査会に持参
- 応募点数 1人もしくは1グループにつき1点まで（グループの場合、重複応募は不可）
- 表彰等 最優秀案1点、優秀案数点予定（賞金等はありません）を審査会終了時に発表予定
- 審査員 木島 千嘉（建築家・木島千嘉建築設計事務所）
（予定）西嶋 公一（熊本まちなみトラスト会長）*
磯田 桂史（熊本大学五高記念館客員教授）*
西郷 正浩（崇城大学工学部建築学科准教授）*
田中 智之（熊本大学大学院先端科学研究部准教授）*
（*けんちく寿プロジェクト実行委員）
- その他
・ 引き手を取り付ける窓の寸法や写真等の情報を、主催者HPに掲載します。
窓は複数ありますが、どれに取り付けてもよいようなデザインを考えてみてください。
・ 留め方・開閉しやすさ・耐久性・見た目・素材・コスト・完成までのプロセス、設置位置等にも留意してください。
・ 最優秀案は孤風院に取り付け、実際に使用されます。
・ 最優秀案は結果発表後、主催者で制作するか、提案者が製作するか等協議します。
・ 質疑等はいりません。本要項以外の事項については各自で判断してください。
・ 応募案の製作や審査会への参加に必要な費用は、応募者が各自で負担するものとします。
- 主催 けんちく寿プロジェクト <http://kenchiku-kotobuki.com/>